

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	農村環境共生小委員会		主 査 名：三笠友洋 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会		委員長名：山崎寿一
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>農村をとりまく環境において、生き物・野生鳥獣との緊張的共生関係について、具体的な事例等に基づきながら検討し、その関係の構築の在り方を明示していくことを目的とする。</p> <p>初年度：農山村地域を取り巻く野生鳥獣の有益・無益な環境側面の整理 2 年度：「自然共生農村計画・空間デザイン論」の骨子（案）の検討 3 年度：「自然共生農村計画・空間デザイン論」の骨子（案）の検討 4 年度：「自然共生農村計画・空間デザイン論」の見直しと 「農村住宅の現在形」の検討</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	<p>主査：三笠友洋（西日本工業大学） 幹事：内平隆之（兵庫県立大学） 幹事：野田満（首都大学東京） 委員：牛島朗（山口大学）、内田文雄（山口大学）、上村真仁（筑紫女学園大学）、篠部裕（呉工業高等専門学校）、柴田祐（熊本県立大学）、田口太郎（徳島大学）、天満類子（広島工業大学）、友渕貴之（和歌山大学）、中野茂夫（島根大学）、野村理恵（北海道大学）、不破正仁（東北工業大学）、八木健太郎（広島大学）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：空間創造が風景をまもる時 ―文化的景観の進化的保全と建築・デザイン(農村漁村文化景観小委員会と共同) 参加者数 58名 『農村計画部門パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 当初の計画の通り研究課題の見直し整理を行うとともに、テーマに応じた研究者ネットワークを再構築し、次年度以降の新組織にむけた体制をつくった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 小委員会設立当初の目的から組織と活動内容の軌道修正が行われたため、期間内に当初想定されていた水準のまとまった成果を出すことができなかった。